

やりがいと成長を 感じる毎日

▷ 現在の業務内容

資産課税部門（調査担当）では、主に相続税調査と譲渡所得調査、贈与税調査を行っています。資産家の方やその家族と関わる機会が多いため、**調査を通じて知識が広がっていく**のを感じます。

▷ 志望動機

高校生の頃に「マルサの女」を見る機会があり、税務の仕事に興味を持ちました。当時、税務職員は法律をよく扱う仕事という印象があり、大学卒業や何らかの資格が必要だと思い込んでいましたが、高卒でも入ることができるということを知り、税務職員の試験を受けました。



▷ 採用後のサポート

普通科生は**1年間の集合研修**を受講するため、十分に勉強する時間があり、各税法に加え、民法や刑法、商法、憲法などの法律科目も充実しています。また、配属後にも「調査1年目研修」「確定申告事務研修」など、年に数回の頻度で実務に直結した研修があり、**学ぶ場が十分に準備**されていると感じます。



◆ 先輩の1日

8:30	出勤
9:00	署を出発
10:00	被相続人宅で調査開始 ～相続人等に質問検査
12:15	昼食
13:00	調査再開 ～現物確認調査
16:00	帰署 ～報告・相談
16:30	調査内容を整理、翌日の準備
17:00	退庁

▷ 苦労していること

今も苦労しているのは、電話での相談対応や来署者の相談対応です。特に相続税についての質問は、個別、具体的な質問が多いため、相談者の相続関係や状況を把握する必要があります。**質問の意図に合った答えにたどり着くまでに相当な聴き取りが必要になる**場合もあり、正しい答えを導くための知識も必要になります。

私は今も勉強中の身です。私が所属している調査担当部門は、基本的に調査事務を担当するため、来署者の相談対応をする機会は少ないですが、電話が鳴ったときや急な来署者には、率先して対応するようにしています。相談を受ける機会を設けることで、その都度勉強することができます。**プライベートの時間を削って勉強するのではなく、勤務時間内に勉強し身に付ける**ことを心掛けています。

message

数ある職種の中からたまたま目についたのが国税の仕事でしたが、3年間、とても楽しく仕事をしています。ときには納税者に対し強い権限を行使する場面もありますが、責任感を持って仕事に取り組むと、やりがいや充実感を得られる職場です！